

平成24年度第1回宇都宮市生涯学習センター運営審議会 会議録

- 1 開催日時 平成24年7月24日(火) 14時～16時
- 2 開催場所 人材かがやきセンター研修室 (中央生涯学習センター5階)
- 3 出席委員 16名
白井委員長, 影山副委員長, 大森委員, 藤岡委員, 小林委員, 赤坂委員,
小泉委員, 十河委員, 小島委員, 川村委員, 待山委員, 山村委員,
田野実委員, 長岡委員, 増淵委員, 伊藤委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 0名
- 6 内 容
 - (1) 開会
 - (2) あいさつ(生涯学習課長)
 - (3) 委員の委嘱について
辞令書交付(長岡孝之委員)
 - (4) 議事
 - ① 平成24年度生涯学習センター運営審議会の事業計画等について
 - ② 平成23年度生涯学習センター事業運営の評価について
 - ③ 人権教育総合推進地域事業について
 - ④ 本市における地域教育推進に向けた取組状況等について
- 7 閉会
- 8 発言の要旨

白井委員長 | 本日はお暑い中、お疲れ様です。今年度第1回の生涯学習センター運営審議会です。活発な御意見、御質問をいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。副委員長もごあいさつをお願いします。

影山副委員長 | 本当に暑い日が続いております。
本日の審議会につきまして、どうぞよろしくお願ひいたします。

白井委員長 | では、議事に入ります。
「①平成24年度生涯学習センター運営審議会の事業計画等について」事務局より説明をお願いします。

事務局 | 【資料について説明】

白井委員長 | ただ今の説明について、御意見、御質問はありますか。
無いようですので、この件につきましては以上といたします。
次に、議事の「②平成23年度生涯学習センター事業運営の評価について」事務局より説明をお願いします。

事務局	【資料について説明】
臼井委員長	各生涯学習センターの特色ある事業につきまして、説明していただきました。ただ今の説明について御意見、御質問をいただきたいと思います。
十河委員	各生涯学習センターでは地域指導者養成講座を実施していると思いますが、講座修了後の活動につきまして、受講生が地域でどのような活動をしているかを追跡調査などはしていますでしょうか。
臼井委員長	事務局いかがでしょうか。
事務局	<p>まず始めに、資料の補足を少しさせていただきます。人材かがやきセンターでは「やってみよう学校支援ボランティア」という講座を、全市対象にモデル事業として平成22年度から実施しております。その事業を参考にしまして、23年度は緑が丘地区で同じ講座を実施していただきました。参加者についての詳細は不明ですが、モデル事業を参考にして各地域で講座を開催していただいているところです。</p> <p>また、今年度につきましても、人材かがやきセンターでこの講座を継続事業として実施しております。今年度の特色としまして、すでに活動している方にも参加していただきまして、レベルアップ講座を開催いたしました。参加者には、地域コーディネーターの方にも御参加いただきまして、各地域での実施状況等を含めた情報交換を進めていただき、地域で活動をしたい、学びたい、という方々への支援を行っております。</p>
臼井委員長	十河委員いかがでしょうか。
十河委員	私が住んでいます姿川地域では、役員を交代しようする場合に、なかなか後任の人が見つからないことがあります。地域で活動をするための講座を実施しているのであれば、受講生のその後について追跡調査をして、受講生が実際に地域デビューできるような仕組み作りを進めていただきたいと思います。
臼井委員長	<p>地域デビューという言葉を使う場合にはいくつかの使い方があるのですが、その意味においても発言の趣旨はよくわかりました。地域で人材育成を行ったあとの活動状況の追跡調査については毎回話題になっていますが、そこまで終わっていると思います。</p> <p>事務局いかがでしょうか。</p>
事務局	清原地区ではまちづくり活動が活発であり、各サークルが活躍してくださっています。地域デビューに関しましても、生涯学習センターが行う場合もあれば、自治公民館で行う場合もあります。地域デビュー講座は生涯学習センターだけが行うのものではなく、やり方もいろいろあるのではないのでしょうか。
臼井委員長	その他に御意見、御質問のある方はいらっしゃいますか。増渕委員どうぞ。
増渕委員	基本的なことをお尋ねします。まず一つ目として、22年度の実績と23年度

の実績を見ますと多くのセンターで実施件数は同数になっているようですが、西生涯学習センターでは、22年度は14講座実施しているところを23年度は5講座と開催状況が半分以下になっています。中央生涯学習センターでは6講座が9講座になっています。南生涯学習センターでは22年度は5講座であったところが23年度は8講座になっています。講座の増減が大きかったことについて、その原因等の説明をしていただきたいと思います。

二つ目は、昨年度ある程度の実績、参加人数があるにもかかわらず複数のセンターでパソコン講座をやめたということについて、その理由を説明していただければと思います。

三つ目ですが、講座は22年度実施したものを23年度も実施しているものが大半であるわけですが、課題や問題点というものを抽出し、改善点を書いています。それをどのような形で工夫して具体的に進めていかれたのかということ、説明していただければと思います。具体的な数字はあげませんが、各センターで受講生が激減している状況がありますので、よろしくをお願いします。

白井委員長

では、センターの指名はいたしません、講座の増減について事務局の説明をお願いします。

事務局

西生涯学習センターでは、予算の関係から事業の見直しを進めた結果です。

中央生涯学習センターの講座数が6講座から9講座に増えたということにつきましては、23年度は生涯学習コーディネーターの皆さんが独り立ちしていただきまして2つのグループができ、市民運営講座として講座の企画から運営までを資料の7番と8番の2講座を実施することができました。

また、9番につきましては中央生涯学習センターと地域が協力し合って開催にいたった講座です。事業見直しの中で、以前は平日に開催していた講座を土・日曜日に開催するなどの工夫をして、参加者増に結び付けられるよう考えたところ、です。

白井委員長

それでは、私からも質問させていただきます。以前私も西生涯学習センターの講座にかかわらせていただきましたが、大変人気のある講座で市民の皆様にも満足していただいていたものが多かったように感じています。今回このように講座数が減少したことにつきまして、その辺の事情をもう少し説明していただければと思います。

事務局

西生涯学習センターでは、市民の方から講座数が少なくなったことについての御指摘は今のところありません。たとえば、今まで実施しておりました傾聴ボランティア養成講座は平成19年度から始めたものですが、その講座の修了生40名程度が自主的に地域や老人ホームなどに出向いて活動をしています。23年度につきましては、これ以上修了生が増えても活動の場を十分に確保するのが困難であるという判断をいたしまして、講座の中止を決定しました。

白井委員長

講座内容がある一定のレベルで開催されていまして、充実しているということでの解釈も出来るのかとも考えています。

増淵委員

22年度の報告書を見ますと傾聴ボランティア養成講座の改善点としまして、今後はより実践に結びつくような講座を企画していきたいと書いてありました。それにもかかわらず講座を中止しているので質問をしました。

事務局 昨年度につきましては先ほど御説明しましたとおり、傾聴ボランティア養成講座につきましては開催しませんでした。今年度は基礎から学んでいただけるような内容で、新たな視点から講座を開催しています。

白井委員長 西生涯学習センターの利用につきましては大変人気があり、活動をするための学習室の確保が困難な状況もあり、そのような事情を踏まえると現状に合うような微妙な表現に留意しなければならないということになると思います。
では、パソコン講座の減少についてはいかがでしょうか。

事務局 人材かがやきセンターが運営管理をしていますパソコン研修室が中央生涯学習センター4階にあり、各生涯学習センターでパソコン講座を開催する場合には機材の貸し出しなども行っています。パソコン講座は10年ほど前から始めた事業ですが、この間にパソコンが広く普及しまして、多くの人たちが一定のレベルで使えるようになってきていると感じております。毎年パソコン講座を開催していますが、年々受講者数が減少しています。そのような状況を踏まえて、この事業の見直しを進めているところです。
また、講座の受講者数の推移に関しての御質問があったと思いますが、講座の受講者数の減少につきましては、今でも歴史などの趣味教養の講座は多くの市民の方に受講していただいています。一方、学びの成果をどのように周囲の方や地域に生かしていくかというねらいをもった講座も開催していますが、そのような講座は受講者が多く集まらない傾向があるため、受講者数減少の一因と考えています。

白井委員長 増渚委員いかがでしょうか。

増渚委員 人材かがやきセンターのような宇都宮市内の中心部であればパソコン教室は数多くあると思われませんが、宇都宮市全域がそのような状況にあるかといえば疑問が残ります。上河内生涯学習センターの22年度のパソコン講座の参加者数は319人でした。その人たちがすべて宇都宮の中心部まで学びに来られるかという疑問があります。また、河内生涯学習センターでのパソコン講座参加者は23年度173人、22年度は163人です。篠井生涯学習センターでは、22年度の参加者は50人、国本でも22年度は54人いましたが、いずれも平成23年度は開催していません。
また、私たちが報告書を作成する場合には、課題や問題点を明記して今後さらに良くするためにみんなで知恵を出し合うわけですが、改善点の項目の内容については、前年度の内容を参考にして安易に書かれているのではないかと感じられる点が見受けられます。

白井委員長 事務局いかがでしょうか。

事務局 パソコン講座につきましては、各生涯学習センターで開催しました講座の受講者が、主に年度単位で講座修了後に自主学習グループを設立するのが最も一般的な流れになっております。各生涯学習センターでは、かなりの数のパソコンの自主学習グループが作られています。そのようなグループが新たにパソコンを学びたいという市民の方の受け皿になっていると考えています。
また、改善点の内容についてですが、本来は事業のスクラップアンドビルドと

いう視点に立って状況に合う内容を記載しなければならないことは御指摘の通りです。資料作成時期の関係から実際は事業を今後も継続するという視点で資料を作成していましたので、その点は今後十分留意して資料を作成して参ります。

臼井委員長

生涯学習センターの大きな役割の一つに、学んだ人が自主的なグループを立ち上げて地域の人たちのために活動をしていくことを支援することは大変大切なことだと思います。そのような状況があつて受講生が減少していると考えられるようです。

また、資料中の改善点や問題点の内容につきましては、増淵委員の御指摘はそのとおりだろうと思いますが、年々書き方は良くなってきていると感じています。

増淵委員

資料作成には困難な点が数多くあることはわかりますので、今後はより一層注意を払って進めていただきたいと思います。

臼井委員長

各委員が資料を御覧になりながら説明を聞き、質問や意見をこの場で述べることは、よりよい事業を展開していくための貴重な時間になっていると思いますので、どうぞ積極的に発言をしていただければと思います。

では、田野実委員どうぞ。

田野実委員

小学校としては、小学生に多くの社会体験や自然体験をさせていただければと考えています。そのような中で、各センターで多くの体験講座を開催してくださっていることに心より感謝申し上げます。資料を拝見しますと、篠井、富屋、瑞穂野のセンターで開催しています講座に多くの参加者がおり、内容もいろいろと工夫されているので他センターでも参考にさせていただければと思います。

伊藤委員

コーディネーター養成がうまくいっていないということを耳にしますが、各生涯学習センターでは数多くの講座が開催されています。現在開催しているコーディネーター養成講座を受講するのではなく、各センターでの講座を応援する方を募集して、講座運営をしながら学んでいただくという養成の方が良いのではないかと考えます。

また、各小学校に宮っ子ステーションという活動があり、社会ですばらしい仕事をしている人たちが子どもたちにいろいろなことを教えています。各センターでも同じような講座を実施しているようですので、各センターの講座と宮っ子ステーションの活動を連携させ、センターから講師を派遣して事業を進めるようにすると、今より良いものになっていくのではと考えます。

それから、出前講座が各地域で開催されていますが、大半は行政から市民へ何かを説明をするというものです。今後は地域で活動をしている人が、自分の人生観などを話すことで、国民としての責任、あるいは県民、市民としてどのような使命と責任があるのかを考えるきっかけになればと思います。このような内容にすることで、引きこもりになっている人やモンスターペアレンツと言われる人たちが少なくなることが期待出来ると考えます。

公民館の「公」と言う字の意味するところは、各地域の人たちに公民としての役割と責任を考えてもらうことだと思います。このようなことから、先程のパソコン講座については民間の力に任せていくべき問題であろうと考えます。

臼井委員長

多くの御意見をありがとうございました。時間の関係もごございますので、この件につきましてはこのくらいにしたいと思います。

では、議事の「③人権教育総合推進地域事業について」事務局より説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

白井委員長

ただ今の説明について御意見、御質問はありますか。

無いようですので、この件につきましては以上といたします。

次に、議事の「④本市における地域教育推進に向けた取組状況等について」事務局より説明をお願いします。

事務局

【資料について説明】

白井委員長

ただ今の説明について御意見、御質問はありますか。

無いようですので、これで本日予定をしていました議事のすべてが終了いたしました。長時間にわたりまして、活発な御意見をいただきましてありがとうございます。